

科目名: 企業家に学ぶ経営		科目コード	EJ73
科目主査: 齊藤 保昭		単位	2
担当講師: 齊藤 保昭、松本 潔		配当年次	2
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	カラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>今日までの歴史の中で、幅広い分野において様々な経営活動が営まれており、ビジネスの成功が社会の発展を、逆にその失敗が停滞をもたらすという経験が繰り返されてきました。</p> <p>本科目では、企業が成長させてきた創業者・企業家の活動や、歴史的な背景を含めた企業活動を具体的な事例から学習します。様々な分野の経営活動から、先人が経験し蓄積してきたビジネスのポイントを学び取ることで、経営の基本的な知識を身につけることを目的とします。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストを熟読し、わからない点は、マーキングしておいてください。歴史の中の企業家に学ぶ意義について考えをまとめておいてください。テキストに登場する企業家を一人選び、なぜ選んだのか整理しておいてください。		
テキスト	『歴史に学ぶ経営学』吉沢 正広, 学文社, 2013年		
この科目の到達目標	<p>①様々な分野の経営活動の事例から、先人が経験し蓄積してきたビジネスのポイントを理解して説明することができる。</p> <p>②先人が経験し、蓄積してきたビジネスのポイントに対して、新たな課題を提示して、理論的に考察することができる。</p>		
成績評価の方法	課題と最終試験によって評価します。		
事後学習	企業家たちは、現在の現実立っているわれわれに何を語っているのかを自分の頭で考えて、考えて、考え抜いてください。		
事後学習の参考文献	<p>『企業家に学ぶ日本経営史』宇田川 勝 他、有斐閣、2011年</p> <p>『ケースに学ぶ日本の企業』加藤 健太 他、有斐閣、2013年</p> <p>『企業家学のすすめ』宮本 又郎 他、有斐閣、2014年</p>		
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具		